

2023 年度新築戸建住宅の ZEH 比率 95%^{※1} 当社過去最高を達成

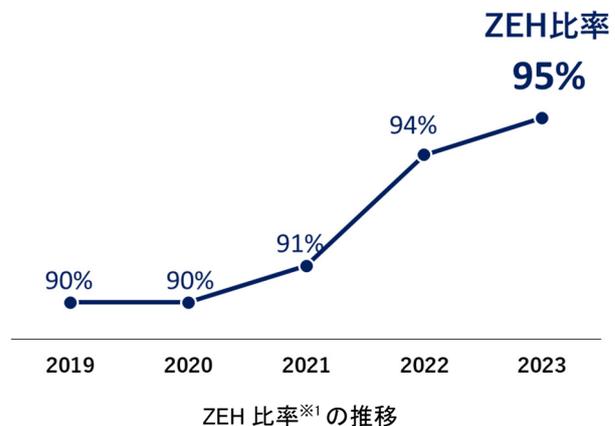
- ZEH 全邸が、ZEH 区分の中でエネルギー削減率が最高ランクの『ZEH』
- 蓄電池搭載のエネルギー自給自足型住宅^{※2}は 91%^{※3}を達成

2024 年 5 月 27 日
セキスイハイム中四国株式会社

セキスイハイム中四国株式会社（本社：岡山県岡山市、代表取締役社長：福本佳史）では、2023 年度新築戸建住宅「セキスイハイム」の ZEH（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）比率^{※1}が、対前年 1 ポイント増の 95%となり、当社における過去最高水準を達成しました。

当社では、2013 年に ZEH 標準対応住宅「ミライクラス」を発売し、更に 2024 年 3 月には、ZEH 水準（断熱等級 5 相当）を上回る断熱等級 6 仕様^{※4}と蓄電池を標準搭載したパッケージ「ミライクラス+（プラス）」を発売するなど、2050 年のカーボンニュートラル社会の実現のために国が後押しする ZEH の普及を積極的に推進しています。

今後も ZEH 推進を軸とした商品提案により、脱炭素社会実現への貢献を加速してまいります。



当社の ZEH 対応状況の特長

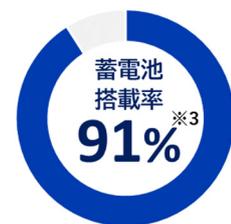
1. ZEH 全邸が、ZEH 区分の中でエネルギー削減率が最高ランクの『ZEH』

2023 年 4 月に大容量の太陽光発電システム（PV）を搭載できる新屋根システム「e-Hat（イーハット）」を導入するなど、大容量 PV による再エネ活用を推進した結果、ZEH 達成邸の全邸が、ZEH の定義区分においてエネルギー削減率が最も大きい『ZEH』（カギ括弧付き ZEH）となりました。脱炭素社会の実現に向けて、より貢献度の高い住まいの提供を推進しています。



2. 蓄電池搭載のエネルギー自給自足型住宅^{※2}は 91%^{※3}を達成

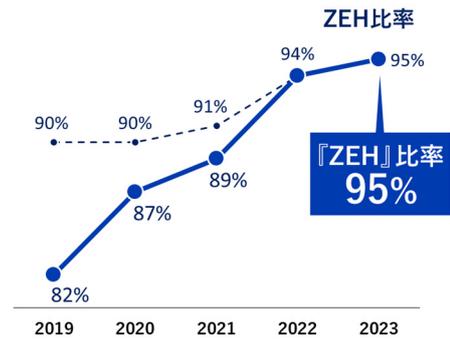
ZEH に蓄電池や独自のエネルギー管理システム（HEMS）「スマートハイムナビ」を搭載した「エネルギー自給自足型住宅^{※2}」の普及に積極的に取り組んでいます。その結果、2023 年度の新築戸建住宅での蓄電池採用率は 91%^{※3}を達成しました。自然災害やエネルギー価格高騰に対応する住まいを普及拡大しています。



■ ZEH 全邸が、ZEH 区分の中でエネルギー削減率が最高ランクの『ZEH』

国が定める ZEH の定義には、『ZEH』（カギ括弧付き ZEH）、Nearly ZEH、ZEH Oriented の 3 種類があり、このうち『ZEH』は、PV 等の再生可能エネルギーを含んだ基準一次エネルギー消費量からの削減が 100%以上と定められています。

基準一次エネルギー消費量からの削減が 75%以上と定められている Nearly ZEH と比較し、『ZEH』は CO₂ 排出量が年間約 0.7 トン/戸^{※5}(杉の木換算で約 50 本以上^{※5}) も少ないことから、当社では脱炭素社会の実現により貢献できる『ZEH』の普及に注力しています。



ZEH および『ZEH』比率の推移^{※1}

ZEH内の区分		基準一次エネルギー消費量からの削減		当社実績	
		再エネ等を含む	再エネ等を除く	戸建全体 ^{※1} (注文+建売)	うち建売 ^{※6}
『ZEH』 (カギ括弧付きゼッチ)	年間の一次エネルギー収支 ^{※7} が 正味ゼロまたはマイナスの住宅	100%以上	20%以上	95%	100%
Nearly ZEH (ニアリー・ゼッチ)	年間の一次エネルギー収支 ^{※7} を ゼロに近づけた住宅	75%以上	20%以上	0%	0%
ZEH Oriented (ゼッチ・オリエンテッド)	都市狭小地、多雪地域に建設され ZEHを指向した住宅	— (再エネ不要)	20%以上	0%	0%
ZEH合計				95%	100%

2023年4月に、PV搭載効率を従来より約10%向上^{※8}させた新屋根システム「e-Hat」を導入するなど、大容量PVによる再エネ活用を推進。2024年1月からは、省エネ地域区分5~7地域（一部山間部などを除き、当社販売エリアのほぼ全域が該当）の平屋・2階建ての戸建全商品において、ZEH水準（断熱等級5相当）を上回る断熱等級6相当の断熱性能（外皮平均熱貫流率（UA値）0.46以下）を標準化^{※4}し、更に同3月には断熱等級6仕様^{※4}と蓄電池を標準搭載して国のZEH支援事業におけるZEH+水準を上回る住性能を有する商品パッケージ「ミライクラス+」を発売。環境貢献度のさらに高い住まいの提案を加速しています。



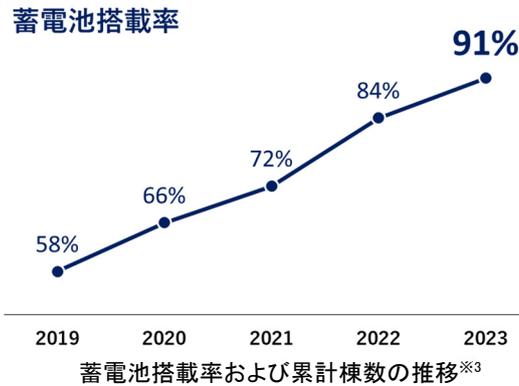
大容量 PV 搭載のステンレス折版屋根「e-Hat」^{※9}

また、このような住まいを面で広げるため、セキスイハイムグループでは、2021年より全邸ZEH仕様とした「戸建スマート&レジリエンスまちづくり」を展開。2022年10月には、このプロジェクトを定着・加速させるため、最高ランク『ZEH』を標準とする高付加価値分譲地ブランド「ユナイテッドハイムパーク」を立ち上げ、建売住宅（分譲）でのZEH率向上にも注力してきました。このような取り組みの結果、当社販売エリアでの2023年度の建売住宅（分譲）におけるZEH率は100%^{※6}を達成しました。

■ 蓄電池搭載のエネルギー自給自足型住宅^{※2}は91%^{※3}を達成

地球温暖化に加え、エネルギー供給不足や自然災害による停電リスク、電気価格高騰へ対応するため、住宅の省エネ化や再エネ活用は喫緊の課題となっています。また、FIT制度の再エネ買取単価は低下傾向にあり、発電した電気を電力会社に売電する経済メリットが鈍化している側面からも、発電した電気を蓄電池に貯めて自宅で有効利用する「エネルギー自給自足型^{※2}の暮らし」がますます重要になっています。

当社では 2020 年より、大容量 PV と大容量蓄電池を搭載し高いエネルギー自給自足率を実現した「GREENMODEL」シリーズを展開しています。多くのお客様に「できるだけ電気を買わない、地球環境に優しい暮らし」を普及する取り組みが功を奏し、2023 年度の新築戸建住宅での蓄電池採用率は 91%※3 を達成しました。



- ※1 ZEH 比率、『ZEH』比率は、ZEH ビルダーの報告方法（注文住宅と建売住宅、それぞれの『ZEH』、Nearly ZEH、ZEH Oriented における計算結果の小数点以下を切り上げたうえで合計した計算方法）に基づいて集計した実績です。ZEH には『ZEH』のほか、Nearly ZEH、ZEH Oriented を含みます。
- ※2 すべての電力を賄えるわけではありません。電力会社から電力を購入する必要があります。
- ※3 2023 年 4 月から 2024 年 3 月における蓄電池（VtoH 含む）の契約ベース搭載率（当社調べ）
- ※4 プランや一部採用メニュー等の条件によっては、断熱等級 6 に適合しない場合があります。
- ※5 エネルギー削減量は国土交通省のエネルギー消費性能計算プログラム、杉の木換算は関東森林管理局「森林の二酸化炭素吸収力」より 14kg-CO₂/本・年として当社試算。
- ※6 2023 年 4 月から 2024 年 3 月における建売住宅（据付ベース）の母数に対する ZEH 棟数の割合（当社調べ）
- ※7 対象：暖冷房、換気、給湯、照明（家電・調理は除く）
- ※8 モデルプラン（延床面積 134.1 m²）での比較。
- ※9 画像はイメージであり、実際の仕様と一部異なる場合があります。

【参照】

国が目指す ZEH 水準を上回る断熱等級 6 仕様を一般地の戸建住宅で標準化
<https://www.sekisuiheim.com/info/press/20231219.html>

ZEH+を上回る新たな未来基準の家『ミライクラス+(プラス)』パッケージを販売開始
<https://www.sekisuiheim.com/info/press/20240314.html>

スマート&レジリエンス「際立ち」の新たな分譲地ブランド『ユナイテッドハイムパーク』誕生
<https://www.sekisuiheim.com/info/press/20221013.html>

[セキスイハイム中四国株式会社 会社概要]

- ◎設 立：1986 年 10 月
- ◎資 本 金：3 億円（積水化学工業株式会社 100%出資）
- ◎代 表 者：代表取締役社長 福本佳史
- ◎売 上 高：256 億円（2024 年 3 月決算）
- ◎従 業 員 数：411 名（2024 年 4 月時点）
- ◎事 業 内 容：ユニット住宅「セキスイハイム」「ツーユーホーム」の販売と設計・施工管理、集合住宅の販売と設計・施工管理及び宅地分譲等の不動産取引
- ◎事 業 所：本社（岡山市）、岡山支店、倉敷支店、広島東支店、山口西支店、山口東支店、広島西支店、福山支店、愛媛支店、山陰支店
- ◎グループ会社：セキスイファミエス中四国株式会社、中四国セキスイハイム不動産株式会社
- ◎本 社 所 在 地：〒700-0907 岡山市北区下石井 2-2-5（ニッセイ岡山スクエアビル 7F）

<この件に関するお問い合わせは下記までお願いします>

セキスイハイム中四国株式会社

〒700-0907 岡山市北区下石井 2 丁目 2 番 5 号 ニッセイ岡山スクエアビル 7F

■本社 営業統括部 妹尾 WHO: 086-235-3322 Mail: senoo@sekisui.com

■お問い合わせ時間 10:00~18:00 ■定休日 毎週 火曜日・水曜日